

【8月】お米配布家庭数：1,862家庭 お米配布人数：3,025名

- ①8月6日水曜日に、刈谷ハブステーションにてご支援のお品受け取らせていただきました。
8月8日金曜日にフードパントリーを開催。少し前に別の方からもお米のご支援いただきましたので、今回はお米をいつもより多めにお渡しすることができました。
夏休みだと子供達が3食食べるからお米代もがいつも以上に必要と以前よりお話を聞くことがあったので、お米の支援が手厚くできたのは本当にありがたかったです。
今回は特に、2人以上の子育てファミリーとシングルファミリーへ多めにお渡ししました。24組のご家族が笑顔でお持ち帰りいただけました。2kg・4kg・5kgとご家庭に合わせてお渡ししました。シングルファミリーの方が、仕事から帰ってご飯の支度するのが大変でお惣菜助かりますと言ってらしたのが印象的でした。皆さん「助かります」「ありがとうございます」と話してくれました。夏休みのような長期連休は、思いの外家計に負担があると改めて感じました。今回もご支援いただきありがとうございました。皆さんの笑顔を間近で見られた事、とても嬉しかったです。またご支援いただけると助かります。
- ②毎回開催している「あそぶとまなぶ」では、星空ソムリエにご来店いただき、星や宇宙について学ばせていただいた。企画はとても良かったものの、ここ最近の受け入れの仕方の影響か、通常よりも閑散としていた。
混雑の緩和を目指し、ここ2か月整理券制にて実施したものの客離れが起き、効率的にもキッチン以外は良くないことが露呈したため、受付の仕方を元に戻すことを予定している。
断定はできないが困難かも知れない世帯が見受けられる。話しかけ、傾聴するようにしている。
- ③今回も大変喜んでいただきました。
自家用車がない等の理由で会場までお越しになれない6世帯のご家庭に配達しました。
昨年秋に実施したひとり親家庭等の食品等支援事業の際に、こども家庭センター様を通じて食品支援を始めたご家庭は、昨年のクリスマスケーキもお届けし、継続してパントリーに参加するようになりました。今回は初めてお父さんと娘さんで参加しました。毎回お米は本当に助かると喜んでいただいています。夏休み中ということもあり、いつも以上に喜んでいました。
- ④今回はお盆期間にも関わらず沢山の親子の参加があり、ボリュームとバランスのとれた食事を提供することが出来ました。
また「夏休みこども食堂わくわくギフト」が抽選で当たり、お米50kgを頂きました。全ての参加家族に米2kgを配布することが出来ました（通常は1キロずつ配布）。残った米は、参加出来なかった母子家庭にも配布して、皆さんに大変喜ばれました。本当にご支援ありがとうございました。
生活困難家庭ばかりでなく子育て中のどの家庭も今、物価高騰のため大変な生活を強いられています。しかし、皆様のご支援のお陰で、私達子ども食堂が少しでもそのような家庭に、皆様のご支援を届けることが出来ることにとても感謝しております。
今後ともどうぞよろしくお願い致します。
- ⑤8月15日・16日、お米とお惣菜の配布を行いました。お米は大変喜ばれました。
また、困難家庭へ個別にお米や食料品の配布も行いました。

- ⑥夏休み中、盆休み中にもかかわらず大勢の参加がありました。
夏メニューとして、ゆかりご飯・唐揚げ・チヂミ・惣菜・スイカを提供しました。
猛暑の中、冷房の効いた会場でボードゲームやトランプ、風船遊び等、縦割り年代で楽しく遊んでいました。
ご支援なくして運営は成り立ちません。こども達の輝く瞳に出会える機会に感謝しております。
今後も宜しくお願い致します。
- ⑦みんなで楽しくいつも食べさせてもらっています。子供達はカレーを食べた後にも残ったご飯でおにぎりを作って出すとまた食べてくれて、最近ご飯を炊く量が増えました。大変助かっております。
困窮家庭やシングル家庭へお米の配布もしておりますが、皆さんありがたいと喜んでくれています。
ありがとうございます
- ⑧頂いたお米は皆さんに届けることができました。
夏休みに入り宅食支援の世帯も増え、直接支援が出来るつながりができました。
- ⑨今回のメニューは、子どもはマクドナルドのハンバーガー、大人はお好み焼きでした。
全員に、フライドポテトとフルーツジュースを提供しました。お土産として惣菜、菓子パンなど多数を提供しました。
今回、お米は使わずストックに回しました。
- ⑩今月の実施内容はパントリーと子どもの遊び場として、手作りUF0キャッチャー、駄菓子屋、キーホルダーのシール貼り体験を実施いたしました。
今回のエピソードは、夏休みも後半でお母さん達はお疲れの様子ではありましたが、少しでも外へ連れていかないと、子どもを連れてきて遊ばせている方もみえました。「お米も買わないと無いんだけど、今日いただいたので給料日まで乗り切ります」ととても喜んでいたお母さんや、Instagramを見て子ども達にとカップ麺を寄付にみえた地域の方がいらっしゃり、すごく嬉しく思いました。
ボランティアに初めて参加の中学生の女の子は「地域のいろいろな年代の方とお話するのも楽しかった、またやってみたい」と話してくれて、このような若い世代の子供達に思いやりの橋渡しができると思いなあと感じました。
- ⑪8月は会場の工事や猛暑による熱中症対策から、お弁当配布とフードパントリーを開催しました。
お弁当配布はお母さんの手間の解消もできるからすごく嬉しい！等のお声もいただきました。
いつもご支援いただいているお米の一部を、ひとり親の方にパントリーとしてお渡しをしました。
工事もうじき終わるため、9月からまた食堂開催を予定しています。惣菜やお米も9月の活動でまた使わせていただきます！
いつもご支援をいただき本当にありがとうございます。
- ⑫給食の無い夏休みですので、食料品を多めに配布しました。とても助かります。
気に掛けてくれる団体があり心強いです、とのメッセージを直接貰いました。
- ⑬高校生ボランティアも参加してくれました。
地域連携を目指して活動していますが、本当に困っている貧困世帯になかなかいきつきませんが、母子家庭や多子家庭、地域で頑張ってる障害者グループホームさん、老人のシェアハウスさんなど資金繰りに詰まってる所の支援が出来ていると思います。
- ⑭夏休みに子どもだけのおにぎり会をしました。4回開催してあと1回開催予定です。
支援米を炊いて出来立ておにぎりを食べてもらう企画で、沢山食べてくれました。

たこ焼き粉はチヂミ、唐揚げ粉はかぼちゃの揚げ物を提供し、それぞれ何回もおかわりしていました。

ゆったりと時間を過ごし、満足した笑顔でご馳走様の声を聞けて良かったです。

⑮【第18回 ほそかわこども食堂ひまわり 夏カフェ開催レポート】

今回のテーマは「ひまわりカフェ!」。夏休みも残すところあと1週間!今回は初めての午後開催で、カフェ(軽食)スタイルに挑戦しました。子どもたちは自分でホットドッグを作ってパクリ!個性的でユニークなホットドッグが次々に生まれて、スタッフもびっくり。

《本日のメニュー》ホットドッグ・ウィンナー・ポテトサラダ4種・ひじき煮・小松菜のシーチキン和え・十六ささげの天ぷら・たまごマヨディップ・フルーチェ・ドリンク
各種・あめ・お菓子両口屋様:しそ味のわらび餅風

《参加者数》70名(こども30名・大人20名・スタッフ20名)

「軽食なのにお腹いっぱい〜!おいしかった」「自分で作れて楽しかった」「ありがとう!」

「ごちそうさま〜!」といったそんなあたたかい声にスタッフの胸もぽかぽか。

食後はプレイルームで新しいゲームに大盛り上がり。高校生&大学生のボランティアさんと一緒に遊んで、子どもたちはとっても嬉しそうでした。

地域の皆さんが笑顔でつながれる場所をこれからも大切に育てていきます。

⑯月1回お弁当を作って会食と持ち帰りとフードパントリーを行っています。その他に外国籍の難民家族に食材や日常生活支援を行っています。

継続していると、参加した子ども達や家族との繋がりが出来てボランティアとして手伝ってくれたりもするようになりました。

⑰今月もお米、お惣菜のご寄付ありがとうございます。今月はプロのミュージシャンをお招きして夏の音楽祭と会食を実施いたしました。会食会場の収容人数が50人ほどでしたがいつもの半数で、当日体調不良のご家庭もありました。ボランティアさんにもせっかくの機会ですので歌を聴いていただきました。

会食はおかずが11種類、カレーは南陽ニコニコ特製カレーとグリーンカレー、あんみつ、全て手作り、旬のお野菜をたっぷり使ってご提供させて頂きました!お惣菜は、ポテトサラダを使わせて頂き、かさ増しでさつまいも、きゅうり、魚肉ソーセージ、人参を追加で一緒に和えました。今日は新聞社さんが取材、市役所の子ども福祉課の方が視察で来られました。他の食堂さんにも回っておりますが、こちらは雰囲気温かくて、会食のおかずの品数も圧倒されたとのことでした。また週明けには南陽ニコニコ子ども料理教室も開催いたします。

お米、お惣菜、とても有難いです。ありがとうございます。

⑱平日の夕方2時間で行っているため、お弁当で持ち帰る方が多い。

惣菜を頂けるので、それをお弁当に入れることができ、とても助かっている。月1回なので、頂いた物品が賞味期限内で使用したり配れないことがあるのが課題である。

⑲毎回、開催校の校長先生と教頭先生が、日曜日なのにも関わらず参加して下さいます。この日は、名古屋市内の他校の校長先生も数名ふたばかふえの活動にご興味を持って頂き、視察に来て下さいました。

高騰するお米のことを大変危惧されていて、愛知子ども応援プロジェクト様を通じてご支援者様のご寄付が有ることをお伝えしたところ「大変心強いですね!」とのお言葉を頂きました。

日々の活動をしていると開催するだけで手一杯になりがちですが、3周年を迎え、これからは運営する方のお力にもなれたらと思うことが出来ました。

これもご支援者のお陰様です。ありがとうございます。

⑳今月はボランティアさんの人数が少なかったため、メニューは夏野菜カレーにしました。

支援品でこども用の甘口レトルトカレーをいただいたので、小さいお子さんにはそちらを提供す

ることができました。

夏休みの中のせいか、申込者が少なかったのでお弁当の提供もさせていただきました。酷暑なので高齢者の参加も減っていますが、乗り切っていただけるように夏野菜をたっぷり入れて作りました。

また、夏休み中のイベントとして、「流しそうめんまつり」と「夏まつり」を開催し、たくさんの地域の方に来ていただき、子ども食堂を知っていただく機会にもなりました。

②この度は食材のご支援ありがとうございました。

この日のメニューはクリームシチューとサラダです。いただいたパンも提供しました。

夏休みも終盤です。来場している小・中学生から「今日お昼食べて無いんだ」「最近夜しか食べていないよ」「夜眠れない。朝はいつも10時に起きている」という心配な声を聴きました。成長期の子供達にとって、規則正しい生活リズムと食事は大切です。夏休みだから、たまたまリズムが乱れているのか？日常的になのか？詳しい聞き取りが出来ればと思っています。

この夏休みで常連の児童には様々な変化がありました。一時保育された児童、家族を亡くした児童、親が生活保護費を落としてしまい更に困窮した児童、親のレスパイト※で母体施設の児童養護施設にショートステイをした児童など、スタッフとの関係ができてきたからこそ、色々な話をしてくれるようになりました。

今後も毎週木曜日にあり続ける場所でなくては強く思います。

今後とも温かいご支援をよろしくお願いします。

※レスパイトとは介護や育児など、普段誰かのケアを行なっている人が休息できるよう支援すること。

②暑い日が続く中、もうすぐ夏休みも終わりという中で、少し疲れた顔をして入ってきた子どもたちも食事を始めるとみんな元気になってきたものです。

いただけたお米で沢山炊き、残りはお米を買い足してパントリーとして持って帰っていただきました。「夏休みで給食のない中お米は本当にありがたいです」とお礼を言われました。本当にいつもありがとうございます。

休みが終わると学校に激痩せしてやって来る子どもがいるとの話から始まった子ども食堂です。とにかく少しでもそのような子が減るようにお米を届けたりしてきました。ここに来ている子どもは元気な顔を見せてくれています。本当にありがとうございました。

また、名鉄ホテル様から頂けた沢山の品物、缶詰はアイスクャンデーにして、学用品は欲しい物をお配りしました。ランドセルを喜んで持って帰った子もいます。スーツケースは修学旅行などで必要な時にお貸しすることにしました。

③お盆期間中の開催とあって、ゆったりとして過ごしながら、交流や食事を楽しんでいました。

「今日ママは？」と尋ねると「お友達とお出かけしてる！だから今日はパパと！」小さいお子さんも親御さんも安心して過ごせる居場所になれてるかな…と。

夏休みでお米はとても助かりますとおっしゃっていました。

④今回こちらでご寄付いただいたお米や、他からいただいたお肉やお野菜で、スパイスカレーを提供しました。スパイスは米粉を使い、一から手作りしたので、アレルギーの子にも同じものを食べてもらうことができました。また、大学生のボランティアさんが、これもご寄付いただいたハチミツを使ってきなこ棒と蒸しパンを作ってくれ、子どもたちがとっても喜んでいました。

私達は、子どもたちが人との繋がりを作ることを目的としており、併設のフリースクール利用者やコミュニケーションを苦手とする子は来ていますが、正直、困難家庭と言われるようなご家庭にはまだまだ情報が届いていません。ただ、参加しているおうちの方は、自分の子だけでなく周りのお子さんにも気を配ってくださる心優しい方が多いです。そこで、ありがたくも余っているお米をそういうご家庭にお届けできるよう、参加者の方々に情報提供をお願いしました。皆さんの温かい心の繋がりで、本当に必要としている方に、ご寄付いただいたお米をお届けできるといいなと思っています。

㊥ 8月のこども食堂は縁日を開催しました。参加者も多く、初めての参加のご家庭が2組いました。ひとり親家庭さんの利用も少しずつ増えてきましたが、まだまだこちらのコミュニケーション不足のため踏み込んだ話しができません。まずはフードパントリーの利用やこども食堂への参加を促しながら信頼関係を築いていきたいと思います。

縁日のイベントはこどもたちが真剣にゲームに取り組んでくれてボランティアスタッフの盛り上がりもあり楽しいひと時を過ごすことができました。引き続き、来年も開催したいと思います。

㊦ 8月はお米を使わずに活動しました。いつもご支援いただきありがとうございます。

夏休みに入り、会食前に宿題タイムを持ちました。異年齢で勉強を教え合ったりして、有意義な時間だったと思います。

先日、お世話になっている社会福祉協議会宛に色紙を作成したところ「子ども食堂に行くようになって毎日が楽しくなったよ」と書いてくれた子がいました。学校や家庭で嫌なことがあっても、子ども食堂には僕の居場所があると感じてくれているのかな、と思い嬉しかったです。

㊧ いただいたお米を会食で使用させていただきました。その他のお米はフードパントリーで各家庭にお渡ししました。米が値上がりしているため、とても喜ばれていました。

会食でも美味しくいただきました。大袋でなく5キロずつになっていたため、使用しやすかったです。



